

## 10月1日より共同募金が始まります!

共同募金は、都筑区内の福祉保健ボランティア活動や障害当事者活動を支える貴重な財源になっています。コロナ禍の中ですが、子どもも大人もお年寄りも、障害のある人もない人も、みんなが自分らしく暮らせるまちづくりに向けて、工夫しながら取組を進めます。

令和2年度募金実績  
赤い羽根共同募金 8,335,299円  
年末たすけあい 7,627,262円  
合計額 15,962,561円

▼昨年の街頭募金運動の様子  
(感染防止に留意し実施しました)



こちらからも募金できます



横浜ビー・コルセアーズは赤い羽根共同募金を応援しています。



共同募金会都筑区支会  
岩嶋 伸幸 支会長

昨年度はコロナ禍にも関わらず、たくさんのご支援ありがとうございました。今年度も感染拡大に留意しつつ、共同募金運動を行います。



都筑区社会福祉協議会  
村田 輝雄 会長

今年度より、LINE Payや交通系ICカードによる募金が出来ようになりました。共同募金についてご理解とご協力をお願いします。

## 共同募金の使いみち

### ～地区社会福祉協議会(地区社協)の活動～

今年度の共同募金PR大使  
野毛山動物園の  
グレイシマウマ



「ココロ」



地区社協

「自分たちのまちは自分たちで良くしよう」と、地域住民により組織された任意の団体です。

### 川和地区社会福祉協議会 ～子育て支援事業～

川和地区では、「赤ちゃん会」(0～1歳)卒業後、入園までの間親子で過ごせる安全なサロンの開催を目的として「あそびの広場」を民生・児童委員、子育てボランティア「ラッコの会」などの協力で主任児童委員が開催しており、子どもたちがおやつなどを食べながら親子にゆっくりの時間を提供しています。



▲川和地区あそびの広場の様子

### 渋沢地区社会福祉協議会 ～「まちづくりアンケート」の取組～

渋沢地区社協では、渋沢地区の1,700世帯の住人に「寄り添う身近な地区社協」として、「だれもが住みやすいまちをみんなでつくること」を目指し、「まちづくりアンケート」を実施しました。「地域の情報が伝わらない」「子どもの放課後の居場所がない」など、たくさんの回答をいただきました。アンケート結果をもとに今後、できることを役員一同で検討し、地区社協広報紙などに取組内容を掲載する予定です。



▲アンケート回答者宅を見守りも兼ねて訪問し、「振り込み詐欺防止グッズ」を配布

### ～ふれあい助成金活動団体～



ふれあい助成金

市民の自発的な福祉保健ボランティア活動や、障害当事者活動などを支援する助成金です。共同募金を財源の一つとしています。

#### ▶障害当事者の活動

##### 北部ピアの会HPKA(ハピカ)

都筑区を拠点にそれぞれの培った経験を話したり、生きづらさやこころの病について、語り、学び、遊び、支え合う会です。

定例会:毎月1回土曜日  
イベントは年2回ほど行っています。

連絡先:鳥潟 携帯:090-6347-2735



▲参加者の皆さんで話し合う様子

#### ▶生活支援ボランティアの活動

##### 中川地区 グッドネイバース倶楽部 おたがいさまの会

向こう三軒両隣の精神で助け合いの輪を広め、高齢者世帯の他、病気や怪我で動けない方、障害のある方を対象に、日常生活での困りごと(清掃や生垣の剪定など)をお手伝いしています。

▶ガラス戸と網戸を清掃しています



## 都筑区社会福祉協議会(都筑区社協)の活動掲示板



ゆいピー  
※都筑区社会福祉協議会のマスコットキャラクター

都筑区社協について詳しくはこちら▶



### ①移動情報センター

障害がある方の移動に関する相談窓口です。サービス事業者の紹介やガイドボランティア、地域のボランティアの紹介などのコーディネート業務を行っています。

#### \*ガイドボランティア

障害がある方の外出を支援するボランティア活動です。18歳以上の方にボランティア登録をしていただき、通学、通所や余暇活動などへの付き添いをお願いしています。興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

### ②セミナーのお知らせ ～災害ボランティア～

“都筑区災害ボランティアネットワーク”と共催で、マンション防災の取組を進めるために「つづき防災セミナー」を開催します。

◆日時/11月13日(土)  
14:00～16:55

◆場所/都筑区福祉保健活動拠点「かけはし都筑」  
プログラムの確認、申込は次の二次元コードからできます。

プログラム掲載ホームページ▶



メールで簡単申込▶



### ③「第6回よこはま地域福祉フォーラム」開催(9月10日(金) 関内ホール)



横浜市社会福祉協議会が主催する、地域福祉活動の広がりやつながりを目的とした基調講演と分科会を開催。今年度のテーマは、「変わりゆく日常でもよりそえるまちへ」

分科会では、東山田地区社協による事例紹介がありました。コロナにより活動休止となった各町内会のカフェやボランティア団体の代表が、地区社協主催の地域団体による合同連絡会に参加し、コロナ禍で工夫した活動の情報交換や、活動再開に向けた取組について発表しました。

